学校番号	319

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	自主作成プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・漢字の書、仮名の書を学習し、漢字仮名交じりの書で自らの思いを書で表現できることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	書の美	・書写から書道へ様々な表現の鑑賞、 ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し，丁寧に扱う態度を養う。	○				a:書写と書道の類似点・相違点、文房四宝について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、文房四宝について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	・観察
	漢字の書 行書一字書創作 行書「蘭亭序」臨書 楷書「九成宮醴泉銘」 「顔氏家廟碑」 「牛橛造像記」 臨書	・筆の特質を行書で学ぶ ・書体と書風について学習する ・臨書と創作の違いを理解する ・古典の用筆法を学習し特徴を理解する ・古典の背景を知る		○	○		a:書体（楷書・行書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な楷・行書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	鑑賞	・展覧会鑑賞の仕方の学習、鑑賞			○	○	a:他者の作品に関心を持ち、展覧会の鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:感性を働かせながら、作品のよさを感じ取れるよう、工夫している。 c:鑑賞の技法を身につけ、ポイントを押さえて鑑賞できている。 d:芸術を身近に感じそのよさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート

2	コンクール出品作品の練習・制作	・自ら古典を選択し臨書する ・自分の作品を鑑賞し、ステップアップしながら作品を作れるようになる		○	○		a:コンクール入賞をめざして意欲的に取り組もうとしている。 b:学習した古典から自分の技能に適したものを選択し表現を工夫しようとしている。 c:古典の特徴をいかしつつ半紙作品として制作できている。 d:自らの作品を鑑賞し、よりよくなるよういかすことができる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	篆刻、姓名印	・篆書について知る ・姓名印を作る ・押印	○		○		a:自分の作品に押印することを考え、篆刻に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:印刀の使い方や押印の技法を身に付け表している。 d:様々な印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	漢字仮名交じりの書	・著作権について学習する ・自分の思いを言葉にするなど、言葉を選定する ・様々な用筆法を工夫し、墨量、線質、構成等考えて制作する ・批評会を入れながら制作する ・押印する	○		○	○	a:言葉の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品

3	表装の学習 鑑賞会	・漢字仮名交じりの書作品をパネルに表具する ・ワールドカフェ形式で鑑賞会をする	○			○	a:表装、鑑賞に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている b:表装の美しさを感じ取り、完成を想像しながら、工夫ができている。 c:表装の基礎的な技能、鑑賞の技能を身に付けている。 d:自分および他者の作品を鑑賞し、集団で行う鑑賞会で自分の意見をいうことができる。また、他者との意見の違いを知り、理解することができる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	仮名の書「蓬莱切」臨書	・仮名の成り立ちを学習する ・仮名の基礎を習得する ・古筆のよさを知る ・料紙に臨書する		○	○		a:仮名の歴史について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:線質、連綿、構成など古筆の美しさについて理解し、表現を工夫している。 c:古筆の繊細な筆使いや墨の潤渇などを身に付け表現している。 d:墨色や構成の技法を理解し、そのよさを味わっている。	・観察 ・提出作品
	１年の振り返り	全作品を振り返って自己評価する				○	a:1年間の学習について、主体的に振り返ろうとしている。 b: 振り返りを通して、書を愛好する心情を育てられるよう、工夫している。 c:自らの学習したことを振り返り、言葉にできる能力が身についている。 d: 学習の振り返りを通して、書のよさや美しさを再確認している。	・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。